

伝笑鳩~~~~第10号~~~~

1990 今月の一笑い3年程前の七夕の日の思い出。近所の家  
7月 小学校4年の男の子の願い事は、

「すべての願いごとがかないますように」  
で、あった。

6月27日(水)の日経新聞の「春秋」には伝笑鳩9号で笑介した最新結婚略称が、作者の名前と共に披露され、話題を提供しました。早速に読者の反響もあり、西井正さんか以下作品が寄せられましたので、笑介します。

- ヒン婚 (貧婚) かぐや姫の唄「神田川」の雰囲気のまま結婚すること。
- コメ婚 (米婚) 嫁の来手のない米作専業農家に嫁ぐこと。
- レン婚 (連婚) 先に退院したエリザベス・テイラーのように再婚を繰り返すこと。
- カン婚 (感婚) 知り合って、即時に(相手の素性も知らず)ただフィーリングで結婚すること。
- ラジ婚 ハネムーンで旅行コースにバーデン・バーデン(日本では三朝温泉)を入れること。・・・(世界有数のラジウム温泉だそうです)
- ユウ婚 (勇婚) 両親の猛反対を振り切って(勘当を恐れず)結婚すること。
- ナマ婚 (生婚) 挙式のと、既に妊娠している状態にある場合の結婚。
- ゼネ婚 ごくごく一般的な、普通の結婚。これに限る!

ということで、幾つか思い当たる結婚もあります。どんな結婚であれ、「幸せな結婚に欠かせないもの、それはユーモアだ」と結んだ春秋子こと片野博司さんも一度同巢会のジョークサロンに参加して頂いておりますが、機会がありましたら再度是非サロンにも寄って頂けるよう企画したいと思っております。

さて、その「春秋」に登場の堀江勲さんの所には社内外の同僚、友人からジャンジャン電話がかかってきたとか、さすが一面の効果は絶大です。「そんなことやってるグループがあるの、行ってみたいな」という人もいたとか。「堀江さんは冗談や駄洒落の合間に仕事してんだから、余裕だよ、うらやましいなあ」という人も。そんなことを言う人達にも輪を広げて行きたいものですね。

という次第の堀江さんはこの所日々是好日ならぬ『日々是口実』とかで

毎日酒を飲んで帰ってくる亭主、女房への言い訳は

「今日は課で歓迎会があってね」「今日は大阪へ行ってしまふ奴の送別会だったんだ」

「今日は仕事の打ち上げで、みんなでワーっとやったんだ」・・・

『日々是口実』の連続。しかし、毎日飲める金と体力があれば、これは『日々是好日』。

「春秋」登場のもう一人、曾田英夫さんは自分で新聞のコピーを配ったとのこと。知っていながら、知らない素振り。サラリーマン社会ですよ。ということで、お得意のサラリーマンことわざ笑辞典の作品を送っていただきました。

- うそから出たまこと ⇒ たてまえから出たほんね (つつい出るね)
- 浮世の風は思うにまかせぬ ⇒ 浮世の金は思うにまかせぬ (本当にそうだね)
- 今ないたカラスがもう笑う ⇒ 今決まったことがもう変わる (朝令朝改という)

関西からのジョーク便りが二通ありましたので御笑介します。

高石市／芝原健夫さんは本業は歯科医師だそうです、副業はシルバー駄洒落教室の名物先生です。では、

シルバー・ダジャレ通信「ダジャレポ」900625号：

大阪のオシャレ・ユーモア笑学校（考長／芝原健夫）からお届けします。

考長の自己紹介、「本業は歯です」皆「ハー」、「絵を描いています」「エー」、「脳力開発もやってます、やりませんか」「ノー」。

先月のテーマ「花の万博にちなんで、ランをプレゼントしよう」

「受験生にはすべラン、オシャレにはサンローラン」藤岡和子さん。「藤山寛美にはドーラン、フランス人にはフラン」竹内満寿蔵さん。「藪医者には治ラン、貧乏人には溜まラン」小西睦子さん。「ランの宿題時間が足ラン、つまランからやラン、そやけど叱られたらたまラン、やりだすと止まラン、これで先生も怒ラン」竹森正義さん。「地震にはもうイラン」もぜひ加えて、皆さんも一緒にやラン？

.....

という気分はランランランの便りです。山下さんも関西の出身でしたが、流石に関西はジョークの育つ風土のようで、冗談の分かん人は居ラン。皆さんベテランです。

もう一人は洋蘭の如き小門留美子さんからです、「9号を読みながらニタリ、フフフと笑いながら“笑う”も微笑・苦笑と・・・いろいろあるなあ“結婚”と同じように笑もと思いつきまして結果は次の様になりました。笑わないで読んで、いえ、笑って下さい。

- 一. 市笑 寄せ。笑いを売ったり買ったり。
- 二. 丹笑 大笑い。顔をあかくして笑う。
- 三. 算笑 打算的な笑い。  
傘笑 傘の中で笑う・・・美人にみえる笑い。
- 四. 伺笑 様子をうかがう笑い。
- 五. 互笑 互いに笑う・・・目クソ鼻クソを笑う、の様に。
- 六. 録笑 いつまでものこる笑顔。
- 七. 質笑 てれ笑い・・・質屋から出た所でバツリ出あった ——。
- 八. 鉢笑 大口をあけて笑う。おちょぼ口が鉢の様な口に。
- 九. 空笑 むなしい笑い、又はそらぞらしい笑い。
- 十. 凍笑 冷笑よりもすごい。つめたい笑い。相手の心を凍てつかせる

.....

少々（笑々）どころかこんなに沢山。なかなか無かですよ、ほんなこつ。

おいしいお知らせ

伝笑鳩7・8号で笑介しました故山下塾鳥の『サモワールわかし』（B4版両面コピー）を御希望の方に郵送致します。62円切手にジョーク・洒落・川柳等を添えてお申込み下さい。封筒記載の同集会『ジョークサロン』宛にお願い致します。

その中から、来年は使えないジョークを最後に、

フランクフルト

アルトハイデルベルヒの清純、フランクフルトのポルノ、これがどちらも西独とはね「セイドクあわせのむと言うじゃないか」（変集：野本浩一）